

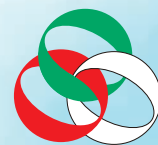
とあみつく

58

平成29年●月●日(●)発行 第58号

労働者健康安全機構

大阪労災病院



やり抜く力

私は当院眼科に赴任して28年になります。眼科手術の進歩・進化とともに自身も向上し続けたいと邁進してまいりました。赴任当時は年間数百件であった手術件数も今では6000件以上となり、眼科チームとしても確立してきたように思います。今なお件数だけでなく質の向上を追求し、チームみんなで日々勤しんでおります。

みなさんは、『GRIT やり抜く力』（ダイヤモンド社）アンジェラ・ダックワース著、神崎朗子訳という世界的に話題になっている本をご存知でしょうか。IQや才能など生まれつき備わっている能力よりも、「やり抜く力」こそがあらゆる成功のカギだという研究成果をハーバード×オックスフォード×マッキンゼーの心理学者がまとめた一冊です。この本の中には、『才能×努力＝スキル、スキル×努力＝達成』と記されています。「才能」とは努力によってスキルが上達する速さのことで、一方「達成」は習得したスキルを活用することによって表れる成果のことです。ポイントは「達成」を得るには「努力」が2回影響するということです。生まれもった才能は個々で違いますが、才能がないからと諦めるのではなく、努力次第で高い成果を上げられるということを改めて確認させられた1冊でした。

努力をしたからといって必ずしも成功する



副院長
恵美 和幸

わけではありませんが、どの分野においても成功者は必ず惜しみない努力をしています。情熱と粘り強さを持って努力を積み重ね、やり抜いてこそ、その先に成果が現れるのだと思います。実際私自身も1つ1つの症例を積み重ね、困った症例を丁寧に振り返りながら次に生かすことで、常に新しい課題に挑戦してきました。今後ともやり抜く姿勢を忘れず、皆様とともに頑張っていきたいと思っています。

現在、新病院に向けて着々と準備が進んでいます。新しいものを作るのはとても大変です。しかし古いものを見直す良い機会でもあり、新たな飛躍の可能性も秘めています。このチャンスを生かしていくためには、我々ひとりひとりのより一層の努力が必要であると思います。

これからも南大阪地域の中核病院としてより良い医療を提供できるよう頑張っていく所存ですので、今後とも皆様には温かい御指導御支援をよろしくお願い申し上げます。

診療科部長紹介 泌尿器科

私自身、大阪労災病院泌尿器科に平成 23 年 4 月に赴任し早 6 年半が経ちました。地域の皆様より信頼される科であることを大前提に、これからも“断らない医療”、“患者さんに優しい医療”を心掛けて診療してまいります。

現在当科は、常勤医 4 名 専攻医 3 名の 7 人体制で外来・入院診療を行っております。泌尿器とは、尿を生成し運搬し排泄に関与するところであり、腎、尿管、膀胱、尿道がこれにあたります。泌尿器科は、これらの臓器に加え、男性生殖器の前立腺、精囊腺、精巣、陰茎、陰囊に関する疾患を診断し治療するところです。さらに当院泌尿器科では内分泌臓器である副腎や副甲状腺疾患の診断・治療も積極的に行っております。近年の進みゆく高齢化社会に伴い、泌尿器科のニーズが高まってきております。とくに前立腺肥大症、尿路結石症、泌尿器がんの増加は顕著です。前立腺肥大症や尿路結石症の手術にはホルミウムレーザー装置が役に立ちます。前立腺肥大症に対するホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）は従来であれば開腹手術をしていたような大きな前立腺に対しても治療可能で、出血も少なく低侵襲治療といえます。尿路結石治療は対外衝撃波碎石術（ESWL）が第一選択治療ではありますが、ESWL は石を砕くことができても取り除くことができませんので石が尿に混じって出るときに痛みが出ることがあります。レーザーと軟性鏡を用いて行う経尿道的碎石術（f-TUL）は内視鏡的に結石を砕き、砕いた石を採取できますので排石に伴う激痛もなく患者さんに優しい治療といえます。

泌尿器科部長 辻畑 正雄



泌尿器がんとして患者さんが多いのが前立腺がん、膀胱がん、腎がんになります。これらのがんの手術治療はこれまで皮膚を大きく切って行う開腹手術でしたが、最近ではほとんどすべての症例で 1 cm 程度の穴を 3-5 か所あけて行う手術になっております。特に前立腺がんと腎がん（小径）に対してはロボット支援手術が保険収載され積極的に行われております。当院でも平成 28 年 6 月より手術支援ロボット（ダビンチシステム）を導入し手術しております。ロボット支援手術は従来の腹腔鏡下手術と比較しても合併症の少ない患者さんに優しい治療といえると思います。

当科のアピールポイントは、あらゆる泌尿器疾患に対応が可能で、いろいろな治療方法を持っていることです。それにより患者さんの体力、病状、そして希望に沿った治療を提供できると思います。最後になりましたが、大阪労災病院泌尿器科スタッフ一同、地域医療に少しでも貢献できるよう日々努力を重ねてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



基本理念

誠実で質の高い医療を行い

すべての方々から選ばれる病院に

基本方針

1. 地域と連携し地域に信頼される急性期医療を行います
2. 高度で安全な医療に全力をあげてとりくみます
3. 患者さまの立場と権利を尊重する医療に努めます
4. 勤労者医療を担ってこれを推進します
5. 働きがいのある職場づくりを推進します

職場紹介 手術室

2016 年は、地域の中核病院として最先端医療を提供するために、内視鏡手術支援ロボット（ダビンチ）の導入や、ハイブリッド手術室新設、さらに手術室を 1 室増室（計 13 室稼働）するなど最新の手術環境を整備しました。急性期病院としての役割を担う当院のさらなる飛躍に向けた基礎固めの一年であったと言えます。

昨年 6 月に内視鏡手術支援ロボットでの前立腺悪性腫瘍に対する初症例を無事に終え、次いで腎部分切除術においても実績を積み重ねています。今後は、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）の実施施設認定の取得を目指してハートチームを立ち上げ、準備を行っています。年間約 13,000 件の手術件数を維持しながら、最新手術を取り入れ、平成 33 年の新病院竣工に向けて様々な変革に対応できる現場力を磨き発揮していかなくてはなりません。現在、手術室看護師は 54 名、看護助手 5 名の総勢 59 名で構成されています。安心安全な手術を受けて頂くことを目標に患者さん一人一人に寄り添った看護の提供に日々努めています。私たちは、手術中の介助だけでなく、手術前後の患者さんの病室を訪問して直接ご要望をお聞きしています。少しでも安心して手術に臨んで頂けるようきめ細やか

手術室師長 南里 佳代子



な工夫や配慮を心がけています。患者さんやご家族にとって手術という一大事を無事に乗り越えられるようにサポートすることが、私たち看護師の大きな使命であり腕の見せ所です。病棟看護師のように直接的な関わりは少ないですが、手術前、中の患者さんを見守り支え、術後訪問で回復された姿をみせて頂く事は看護師として何よりの喜びでありパワーの源でもあります。

今後もまだまだ変革していく当院を支える手術室看護師として、多職種と円滑に連携・協働しながら安全で効率的な手術運営を目指します。また、「大阪労災病院で手術を受けたい、受けて良かった」と地域の皆様に選ばれるように、高い知識・技術と温かいハートを兼ね備えた看護師教育に取り組んで参りたいと思います。



皆様の提案を取り入れるための「提案箱」を設置しています。

積極的・建設的なご提案をお願い申し上げます。

ご提案先:総務課

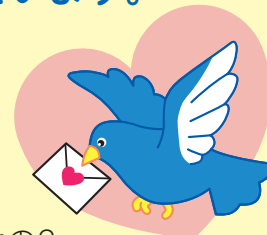
提出方法: ①投書の場合

総務課入口に設置してある「こうしたらどうや提案箱」まで

②郵送の場合 住所: 〒591-8025 堺市北区長曾根町1179番地の3

大阪労災病院 総務課 あて

③メールの場合 E-mail: soumukatyou@osakah.johas.go.jp まで



トピックス 新職員宿舎 (シャイン金岡)

事務局次長 三浦 弘二



暮秋の候、平素は当院の運営に大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

そあみっく第58号が発刊される頃には、既に数ヶ月経過していますが、我々大阪労災病院職員の多くが待ち望んでいました新職員宿舎が遂に完成しました。新職員宿舎は、「輝く、光る、きらめく、いきいきする、発揮するなど職員がこうしたイメージで働けるための職員宿舎になるようお願いを込めて」、またシャインと社員の語呂合わせも含めて【シャイン金岡】と命名しました。

旧職員宿舎は3棟ありますが、古いもので昭和49年に竣工し、築43年を経過しており、老朽化が進んでいましたので、至る所を補修・修繕して使用してきました。その様な中、全職員が待ち望んでいました病院の建設計画が平成25年に決定されました。しかし、当院の敷地内には新病院を建設する場所がなく、これを契機に旧職員宿舎を取り壊し、病院の敷地外に新職員宿舎を建設する計画を平成26年に決定しました。

計画から3年4ヶ月後の平成29年5月31日、無事待望の新職員宿舎の竣工を迎えました。新職員宿舎

は、地上10階建て、部屋数は、1ルームが210戸と世帯用が27戸の合計237戸です。

竣工前には、田内院長始め幹部職員による内覧を行いました。新築の良い匂いと真新しい部屋に魅せられ、この職員宿舎であれば自分も入居したいと言いつつ幹部職員もいました。

6月中旬から順次入居を始め、6月末までに入居希望者全員の入居が完了しました。

また、院内保育所も新職員宿舎に引っ越しました。保育児は最初「何時になったら保育所に帰るの?」と、新しい保育所だと理解が出来ず戸惑っていましたが、今では、砂場や真新しい汽車の乗り物などで楽しく過ごしています。

最後になりますが、新職員宿舎への引越も完了して、真新しい宿舎で職員一同生き生きとリフレッシュされ、気持ちも新たに業務にあたっておりますので、今後とも、よろしくお願い致します。



患者様、ご家族の方、
地域住民の皆様向け

大阪労災病院市民公開講座

平成29年11月～平成30年3月の予定

開催日	時間	所属	講師	演題	内容
平成29年 11月21日(火)	11:00 ～12:00	薬剤部	稲村 勝志	知って得する!薬の正しい使い方 ～クイズで学ぼう!くすりとサプリ～	安全に薬を使用して、健やかな毎日を送っていただくために、「薬の正しい使い方5カ条」について、クイズ形式でお話したいと思います。 また、サプリメント(健康食品)についても、みなさんの疑問などをクイズで考えてみましょう。
11月27日(月)	10:30 ～12:00	糖尿病内科	若林 侑香	糖尿病治療の3本柱 ～食事・運動療法を中心に～	糖尿病患者数は年々増加し、糖尿病の新薬も数多く登場しています。しかし、どんなに良くできた薬を使っても、基本となる食事・運動療法をおろそかにしては、糖尿病とうまく付き合うことができません。逆に、食事や運動療法を見直してみると、それだけでぐっと糖尿病が良くなり生活にも張り合いが出てくることがあります。効果的かつ実践しやすい食事・運動療法のコツについてお話させていただきます。
		栄養管理室	堂前 理紗子	知識を深めて食事を楽しむ!	食事療法と聞くと「制限」「禁止」といったイメージが強いかもしれませんが、そればかりではありません。基本的な部分を押さえれば大丈夫!食事療法の基本と外食、間食のポイントについてお話します。
12月6日(水)	11:00 ～12:00	乳腺外科	小田 直文	早期乳がんの遺伝子診断 ～適切な術後治療の選択～	乳癌の生存率向上には、診断・治療の発展が大きく寄与してきました。今後更なる生存率向上には、正確な診断に基づく適切な治療の重要性は増す一方です。正確な診断法のひとつと考えられている早期乳癌の遺伝子診断についてお話します。
平成30年 2月14日(水)	11:00 ～12:00	心臓血管外科	近藤 晴彦	心臓・大血管の手術のお話	心臓の手術、大動脈の手術は、大変危険な手術であるとか、特に高齢者にとっては、「自分にとっては体力的にも無理だろう」と思われがちですが、最近の、医療の進歩に従い、高齢者に対しても安全に手術・治療が行われるようになってきました。 今回は、現在行われている心臓や大動脈の手術について、その対象となる病気、手術方法、手術後の経過を中心にわかりやすく解説させていただきます。
3月8日(木)	11:00 ～12:00	消化器内科	松本 健吾	膵臓がんのお話	膵臓がんが恐ろしいのは、がんを発見した時にはかなり進行している場合が多いことであり、死亡率の高いがんとして知られています。膵臓がんをできるだけ早く発見するために、どのような症状が現れるのかを知っておくことは大切です。 今回膵臓がんの症状や早期発見のための検査について御説明します。

ろうさい市民 ハートフォーラム2017開催



「自分の血管の状態を知ろう！」コーナー也大盛況！！

12時までの予定を13時まで繰り下げて実施



講演会「どうしてなるの？狭心症と心筋梗塞」 「進化しています！心臓血管手術」



満員御礼！席を300席用意するも足りず！！
椅子の増設を重ねて対応したが収まりきれず・・・



急遽、第二会場を用意して同じ講演を開催



パネルディスカッション「今日からできる血管老化予防法」

観衆の笑いを誘いながらのパネルディスカッション
「今日からできる血管老化予防法」も好評



予想を上回る650人も
の参加者があり、
大盛況のうちに終了



次回の
開催予定

ろうさい市民がんフォーラム2017
～もっと知りたい! がんの今とこれから～

日時 11/18(土) 10:00～16:20 • 11/19(日) 9:30～16:20

場所 大阪労災看護専門学校 アイリスホール

管理職 新人紹介

平成 29 年 7 月 1 日付



整形外科副部長

衣笠 和孝

専門分野：スポーツ整形外科

出身大学：大阪医科大学
(平成 14 年卒)

星ヶ丘医療センターから赴任してまいりました。
膝のスポーツ傷害に対する治療を専門にしています。
大阪労災病院のお役に立てるよう頑張ります。
どうぞよろしくお願いいたします。

2017年 だいらう山柳

医療安全などをテーマに患者さんや来院者、職員の皆さんから
だいらう山柳を募集いたしました。

最優秀賞

おかしいと気付けるチカラ 言う勇氣

優秀賞

気付きあう 明るいチームが生む絆

高齢者 家族も含めて チーム医療

安全は 皆の意識の 集大成

手に技術 心にゆとり 身に知識

安全は 小さな努力の 積み重ね

医療事故 起こすも 防ぐも その手から

マンパワー チーム医療でフルパワー

安全は 日々の 努力の 積み重ね

あいさつは どこでも 使える 共通語

編集後記

世界文化遺産への登録を目指して「百舌鳥・古市古墳群」が推薦されることが決まりました。
当院では、サカイ(堺) からセカイ(世界) へ向けて医療を発信していこうと頑張っています。
今でも地図を片手にする観光客を見かけます。登録されるとセカイからサカイへ旅行客が増え
そうですね。

(H.H)